

に現れ元気に行進。鈴木隆一「ピー君」も参加し、バツジペンギン

和紙風船に伝言託す

鯖江・片上「春たんぼ」 児童ら200個大空へ



鯖江市片上地区の春祭り「鯖江かたかみ春たんぼ98」(福井新聞社後援)は二十九日、片上公民館周辺で行われた。今年初めて企画されたメッセージエコロジー風船飛ばしや恒例の田植えなど多彩なイベントが行われ、約五千人の人出でにぎわった。

鯖江市片上地区の春祭り「鯖江かたかみ春たんぼ98」(福井新聞社後援)は二十九日、片上公民館周辺で行われた。今年初めて企画されたメッセージエコロジー風船飛ばしや恒例の田植えなど多彩なイベントが行われ、約五千人の人出でにぎわった。

同地区の地域おこしを目的に開催。今年で十一回目となる。

メッセージエコロジー風船飛ばしでは、ハトの形をした和紙製の風船二百個を準備。片上小の児童が書いたメッセージカードを風船一つ一つに付け、児童や地区住民ら約百五十人が一斉

に空へ放った。

児童らは、ゆっくりと上昇していく風船に「遠くまでメッセージを運んでね」と手を振った。

体験田植えには小学生から大人まで約五十人が挑戦。片上地区と交流のある神戸市灘区からも七人が参加した。今年二月に同区

春の高原散策 野

親子70人満喫 大

六呂師で「楽しむ会」

大野市の教育ボランティア団体、OASIS協会(伊藤一康会長)の「春の自然を楽しむ会」は二十九日、同市の六呂師高原一帯で開かれ、大勢の家族連れらが自然観察や山菜採りで高原の一日を満喫した。

自然と親しみ、人との触れ合いを通して心のリフレッシュをしてもらおうと毎

琶町で行われた春祭りでは、震災復興の応援をしようとして

片上地区南井町元気の出る会が「文殊よいとこせもち」をふるまったのがきっかけ。七人は足や顔に泥をつけながら「琵琶町の祭りは震災を機に始まったのでまだ二年目。十一年も続けている片上を目標にしたい」と話していた。

また、文殊山登山スタンプラリーでは親子連れ約二千人が往復二時間の行程を楽しんだ。苗を投げて植える「空中田植え」や長さ四十センチのジャンボ巻きずしでも大勢が盛り上がった。



山菜の種類やマナーについての説明を聞く参加者

年実施しており、今年は大野市をはじめ福井市や鯖江市から親子連れら七十人が参加した。

同協会事務局がある木造二階建ての旧六呂師小校庭で、講師の石本昭司会長さん(六巴)大野市小矢戸川